

宮内庁三の丸尚蔵館収蔵品をネット初中継 東京藝術大学大学美術館 特別展「日本美術をひも解く—皇室、美の玉手箱」 8/15 ニコニコ美術館でライブ配信

株式会社ドワンゴ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：夏野剛）は、同社が運営する日本最大級のライブ配信サービス「ニコニコ生放送」で展開している、学芸員や専門家の解説とともに展示会の魅力をお届けするオンラインギャラリートーク企画番組「ニコニコ美術館」にて、東京藝術大学大学美術館で開催される特別展「日本美術をひも解く—皇室、美の玉手箱」の様態を生配信します。宮内庁三の丸尚蔵館に収蔵される作品がリアルタイムでオンライン公開されるのは、史上初となります。



東京藝術大学大学美術館
特別展 日本美術をひも解く
— 皇室、美の玉手箱 を巡ろう

宮内庁三の丸尚蔵館
収蔵品が登場！

NICONICO MUSEUM
ニコニコ美術館

進行：橋本麻里
8月15日(月) 18:00～

国宝 唐獅子図屏風（右隻） 狩野永徳筆 桃山時代（16世紀） 宮内庁三の丸尚蔵館蔵

特別展「日本美術をひも解く—皇室、美の玉手箱」では、宮内庁三の丸尚蔵館に収蔵される『春日権現験記絵』『蒙古襲来絵詞』『唐獅子図屏風』といった誰もが教科書などで一度は見たことがある皇室の珠玉の名品をはじめ、高橋由一の『鮭』ほか東京藝術大学のコレクションを加えた82件の多種多様な作品を通じて「美の玉手箱」をひも解き、日本の美術の豊かな世界に触れることができます。

「ニコニコ美術館」（通称：ニコ美）は、ニコニコを通して各地の美術館・博物館・展覧会・寺社の魅力を伝えたいという意図のもと、2012年の放送開始以来、これまで100回以上の配信をお届けしています。歴史的展示物をオンラインで気軽に観賞できるだけだけでなく、造詣の深い出演者による熱のこもった丁寧な解説を通して展示を深く知ることができるのが特長です。また、ニコニコのコメント・アンケート機能を通して、全世界の視聴者とリアルタイムに感動や驚きを分かち合いながらコミュニケーションを楽しめます。

番組概要

- 番組名：東京藝術大学大学美術館 特別展「日本美術をひも解く—皇室、美の玉手箱」を巡ろう（進行：橋本麻里）
【ニコニコ美術館】
- 放送日時：8月15日（月）18時～終了時間未定
- 視聴 URL：<https://live.nicovideo.jp/watch/lv337519591>（ライブ配信後も見逃し視聴可能です）
- 出演者：黒川廣子（東京藝術大学大学美術館長） / 古田亮（東京藝術大学大学美術館教授） / 橋本麻里（ライター・エディター、公益財団法人永青文庫副館長）
- ニコニコ美術館公式サイト：<https://ch.nicovideo.jp/niconicomuseum>

特別展「日本美術をひも解く—皇室、美の玉手箱」概要

- 会場：東京藝術大学大学美術館
- 会期：2022年8月6日（土）～9月25日（日） ※会期中、作品の展示替えおよび巻替えがあります
- 休館日：月曜日（ただし、9月19日（祝）は開館）
- 開館時間：午前10時～午後5時 ※入館は閉館の30分前まで

- 観覧料：一般2,000円（1,800円）、高・大学生1,200円（1,000円）
 - ※中学生以下、障がい者手帳をお持ちの方とその介助者1名は無料
 - ※（ ）は8月5日まで販売の前売料金
- 主催：東京藝術大学、宮内庁、読売新聞社
- 特別協賛：キヤノン、大和証券グループ、三井不動産、三菱地所、明治ホールディングス
- 協賛：JR東日本、清水建設、高島屋、竹中工務店、三井住友銀行、三菱商事
- 特別協力：文化庁、紡ぐプロジェクト
- 展覧会公式HP：<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/tamatebako2022/>
- 展覧会公式Twitter：[@tamatebako2022](https://twitter.com/tamatebako2022)
- お問合せ：050-5541-8600（ハローダイヤル）